

平成 26 年 2 月 12 日

各 位

会社名 株式会社 新生銀行
 代表者名 代表取締役社長 当麻 茂樹
 (コード番号 : 8303 東証第一部)

大分県玖珠郡九重町におけるメガソーラー事業向けプロジェクトファイナンスの組成について

当行は、株式会社レノバ(東京都千代田区、代表取締役社長 木南陽介、以下「レノバ」)が出資する特別目的会社(SPC)が大分県玖珠郡九重町に建設する、発電容量合計約 25 メガワットの大規模太陽光発電所(メガソーラー)に対するプロジェクトファイナンスを組成し、係る融資関連契約を平成 26 年 2 月 7 日に締結いたしました。このプロジェクトファイナンスは当行がアレンジし、建設にかかる費用のうち総額約 79 億円を融資するものです。

レノバは再生可能エネルギー事業の開発やプラスチックリサイクル事業を展開し、メガソーラー事業でも、これまでに茨城県潮来市、千葉県富津市および静岡県菊川市の 3 カ所で発電所を着工もしくは運転開始しており、本件を含め計 96 メガワットの開発実績を有します。一方、当行は、これまでにメガソーラーの分野において、茨城県水戸市、北海道小清水町、静岡県菊川市のプロジェクトをはじめ、多数の案件に対するファイナンスを組成し、合計で約 140 メガワットのプロジェクトに対するファイナンスコミットを行っております。

本事業は、メガソーラー開発および案件組成に豊富な実績を持つレノバと当行により組成される 2 件目のプロジェクトファイナンスです。また、著しい事業拡大を遂げるレノバの初の単独スポンサーの案件となります。当行は、キャッシュフローファイナンスというプロジェクトファイナンスの特長を活かし、また、一般社団法人が合同会社の出資者(社員)となるスキームを採用することで、成長企業による大型プロジェクトに対して事業資金を提供することを可能いたしました。

当行では、第二次中期経営計画における法人向け業務戦略の一環として、再生可能エネルギー事業を重点分野の一つと定め、平成 24 年度より、メガソーラー事業に対するプロジェクトファイナンスおよびそのアレンジ業務の実績を積んでいます。また、地域振興の観点から、地産地消プロジェクト支援の一環として、地域金融機関と連携した取り組みを積極的に行っております。

【プロジェクトの概要】

事業名称： 大分県九重町メガソーラー事業
 発電容量： 約 25 メガワット
 想定年間発電量： 2,400 万キロワット時(一般家庭 7,000 世帯の年間使用電力に相当)

事業主体： 合同会社九重ソーラー
 スポンサー： 株式会社レノバ
 商業運転開始： 平成 27 年 5 月予定

※本格稼働後、発電する電力は、平成 24 年 7 月に施行された「電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法」に基づく電力受給契約により、20 年間にわたって全量を固定価格にて九州電力株式会社に売電。

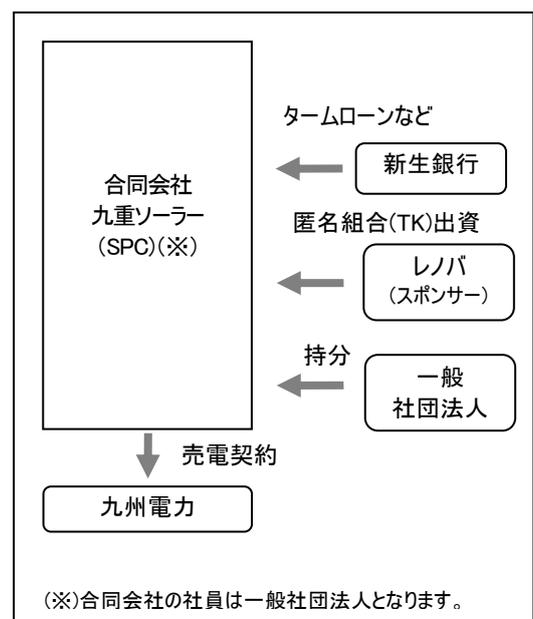
【株式会社レノバの概要】

名称： 株式会社レノバ
 代表者： 代表取締役社長 木南 陽介
 本社所在地： 東京都千代田区大手町 1-7-2
 東京サンケイビル 18F
 資本金： 11 億 9 千万円(平成 25 年 5 月 30 日現在)

【融資契約の概要】

貸付人： 株式会社新生銀行(アレンジャー)
 融資金額： 総額 約 79 億円
 契約締結日： 平成 26 年 2 月 7 日

【プロジェクトのスキーム図】



以上